

KOCV news

<http://kocv.jp> e-mail:info@kocv.sakura.ne.jp

発行:青年海外協力隊神奈川県OB会／畦地 崇敬

最近大河ドラマの影響で坂本龍馬人気が高いです。現代の社会は100年に一度の不況の影響や少子化の影響もあり行き詰まっているように見えます。まさしく龍馬の株式会社・薩長連合・大政奉還等を企画した発想が求められてくるのではないかでしょうか。どうすればそのような発想が出来るのでしょうか。彼の発想の根底には共生の思想があるように思えます。その考えに至るには当時の社会の常識であった主従関係から離れたフリーな立場で、異文化交流体験を多く積むことにより、体得していったと思います。そんな観点から協力隊を考えると、まさに、龍馬の経験は協力隊員と相通じるものがあるのではないかでしょうか。OVの皆様には今こそ協力経験で培った共生の発想で地域社会を担っていく存在になりたいと思います。

報告

第5回 やまと国際交流フェスティバル参加

小島海治(H10-1/トンガ)

「やまとに集めよう！世界の笑顔」をテーマに第5回やまと国際交流フェスティバル（同実行委員会、大和市国際化協会主催）が、3月21日、大和駅東側プロムナードで開かれました。大和市の外国人登録は70カ国、約6300人で人口の約3%となっていて、同フェスティバルは、市内在住の日本人と外国人が、お互いの文化に触れ、交流することで、双方の国際理解を深める「多文化共生」推進の一環として行われています。

ステージでは、市内の小学生らによるフラメンコのほか、バリダンス、フラダンス、南米のフルクローレ、ペルーダンスなどが披露され、華麗な動きが会場を盛り上げ、また、空中ごまなどの「世界の遊びコーナー」や民族衣装コーナーなども設けられ、子供たちが挑戦していました。会場には、タイ、インド、ペルー、アルゼンチンなど6つのエスニック屋台も出店し、それぞれ自慢のお国料理を調理し販売していました。

青年海外協力隊神奈川県OB会は、1つのブースを設け、協力隊パンフレットを配布すると同時に、フリーマーケットも実施しました。



第4回協力隊まつりに出展しました

高野忠裕(H7-1/ラオス)



4月3,4日、広尾のJICA地球ひろばにおきまして、昨年に引き続き「協力隊まつり」が開催されました。今年は事業仕分けの影響もあり開催 자체が危ぶまれましたが、なんとか時期を前倒しして実施することが出来ました。

その甲斐もあり、盛大に行われたと言いたいところですが、時期が早かったこと、募集説明会が同じ日に新宿でかぶっていたこともあり、大幅に集客が落ち込み、課題の多いイベントになりました。

KOCVは1階にて食用バナナをつぶして揚げた「パタコーン」の販売およびJOCA森林ワーキンググループと共に丸太切りやバードコール作りを行う木工教室に出店しました。全体では来場者は大幅に減りましたが、木工教室など収容人員が限られていることもあり、丁度良い盛り上がりを見せ盛況でした。

1日目の夕方に懇親会もあり、本当に訓練所以来という仲間にも会うことが出来楽しい週末になりました。来年度も様々な酒席があるようですが、引き続き行われることを切に希望いたします。



エッセイコンテスト表彰式

高野忠裕(H7-1/ラオス)

長年、KOCVでも中学生の部の一次審査に関わってきたJICA国際協力エッセイコンテストですが、3月22日にJICA横浜管轄の入賞者を一堂に会して表彰式を執り行いました。今までにも、表彰式は行われたことがございますが、今回は表彰者はもとよりご指導なさった先生達にも感謝をし、国際協力に关心の高い生徒達に早い段階で現場の状況を伝えることを趣旨としてJICA横浜主催、KOCVは協力という形態で行われました。

当日の様子は新聞等でも取り上げられていますので、すでにご存じの方もいらっしゃるかとは思いますが、はじめに表彰し、審査公表の後を受けて、受賞者の朗読がありました。

第二部 国際協力の出会いでは、グアテマラで食品加工隊員として活動されていた羽熊広太さんから「国際協力ボランティアの理想とアリアリティ～失敗から学んだ協力隊日記～」と題して絶妙の活動報告がありました。その後も羽熊さんの進行で研修生達との懇親会、ゲーム大会が行われました。この企画は実現するまでに絶縁曲折はございましたが非常によかったです。今期も是非行いたいと考えています。

それともう一つ課題も見つけました。子供達の世界的な問題に対して強い関心を持っていて、頼もしい限りですが、それにも関わらず協力隊のことを知らない方が多数いました。

「OVが思っているほど協力隊は知られていない」現実を謙虚に受け止めると共に、むしろ、このような関心の高い生徒達と直接ふれあえるような企画を考えいかなければならぬのではないか。その為にも今回の表彰式は意義があったと思いました。



寄(ヤドリキ)での森林保全活動

増田 勇希(H18-2/ルーマニア)

ワーキンググループの皆様、植樹作業に参加してもらいました。

当日は雨もぱらつきマイチの天気でしたが、3年目に初めて植樹もでき芋焼酎を味わったりなど楽しく過ごせたのではと思います。ちなみに、ガスコンロを常備置いてありますので、次回からも焼き物などもできます!!

神奈川県松田町・寄(ヤドリキ)での森林保全活動も3年目。4月24日(土) 神奈川県OB会のWGメンバー5名と共に初めての植樹作業を行いました。小雨降る中での活動でしたが、小さな苗木に土を被せ、1本1本大切に植えていく作業はなんとも言えず、「しっかり育って欲しい、今後を見守るのが楽しみだ」と言う声がメンバーからも漏れていました。「緑の森を再生する」JOCAの森では引き続き今年度、植樹を行っていきます。

今回植樹した木はコナラ、クヌギ、イロハモジ、ケヤキ、ヤマボウシの5種類40本。植樹場所将来はここが緑の森へ!!

次回は、植樹地域の整地作業と第二回植樹を行います。植樹地域は以前キャンプ場だったのでゴミがたくさん、そして石もゴロゴロしています。まずはそれを取り除き、ついで植樹を実施!!みなさんのご参加をお待ちしております!



多文化ソーシャルワーカー養成講座を受けました

高野忠裕(H7-1/ラオス)

多文化共生社会を下支えするために神奈川県の諮問機関である外国籍県民会議やNGO会議から提言としてあがっていた同事業ですが、実際に受講しましたので、そのご報告をさせていただきます。

1月16日(土)から隔週の土曜日の午後いっぱいを使って3月27日(土)までの全6回シリーズで神奈川県の国際課およびかながわ国際交流財団の主催のもと行われました。外国籍の住民が地域社会と共生する上に置いて問題となっている様々な事例を取り上げて、ジェノグラム等の手法でその関連性を調べて図示し解決策を探っていくという内容でした。

現実的に、社会的弱者に対する支援策には様々な制度がございますが、どの事例どのように当てはめが出来るのか、一朝一夕には出来ない作業です。とても6回の講座だけでは、習得にはおぼつかないですが、このような草の根の努力を積み上げていく事が、地域社会の力になってくると思います。

当会員の場合は逆の立場で(任国で)外国籍の住人として活動を行なった事のある経験者の集まりです。その経験を神奈川の地域社会で生かせる事は多々あると思いまます。私が受講したのは第2期生でございますが、また来年の同じ時期に第3期が開講される予定です。関心のある方は受講してみてはいかがでしょうか。

神奈川県国際研修センター

小畠けい子(マレーシア)

神奈川県青年海外協力隊OB会の皆さまへ

初めまして、この4月から(社)青年海外協力協会が管理運営することになった「神奈川県国際研修センター」に勤務しております「小畠けい子」と申します。私もマレーシアの協力隊OV(幼児教育)です。ここで皆さんに静かな環境にある当センターを紹介し、皆さんにも大いに活用していただき解放された活気あるセンターづくりにして行きたいと願っておりますのでよろしくお願ひ申し上げます。

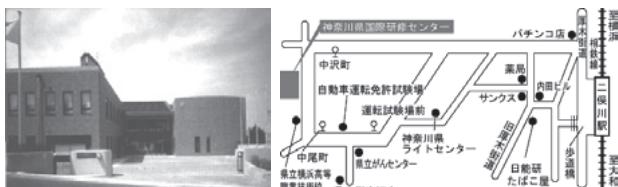
当センターは神奈川県民部国際課管轄で、1987年に設立されました。数年前までは途上国から多くの研修員を受入れ県内各地でさまざまな分野の技術研修を実施していました。

現在の主な事業として3つあります。

1. 県内の大学に在学する「私費留学生(現在は中国・韓国・ベトナム:30名)」と日本人学生2名「チューター」に宿泊施設として開放しています。
2. 縮小されましたが途上国からの研修生を毎年8月から翌年3月まで受け入れています。(今年は5カ国から予定されています)
3. 会議室4室を一般に開放:県国際課の多目的使用実施要項「国際交流団体、横浜市旭区内の自治会、主に横浜市内に在住する者又は在勤する者により構成される文化サークル等の団体」に則り、県知事の許可を得た上で使用可能となります。申し込み方法は、所定の様式「神奈川県国際研修センター使用団体登録申請書」を当センターに提出していただき、県知事の許可を得た上で「神奈川県国際研修センター使用許可申請書」を使用する3日前までにセンターに提出していただくことになります。

内容:70人収容可1室1時間580円、20~30人収容可3室1時間170円~180円) 使用時間:午前9時~午後9時、閉館日:月曜日、祝祭日(ただし、この日が月曜日に当たる時は、その翌日とする)、年末年始(12月28日~1月4日)

留学生や研修生、そして地域の皆さんとの交流行事も計画しておりますので、気軽に遊びにいらしてください。お待ちしております。



平成22年度事業予定(案)

月	日	事業名	場所	主担当
4	3	協力隊まつり(~4日)	広尾	前田・吉永
	18	定期会	横浜市	事務局
	24	森林づくり実習型ボランティア事業(以下森林P)	松田町寄	畦地・増田
	27	協力隊まつり全体会議	広尾	畦地
5	4	会計内部監査	横浜市	霜村・畦地・高野
	16	定期会・会計監査	横浜市	事務局
	23	全国植樹祭(秦野会場)	秦野	増田
	29	JOCA平成22年度第1回評議員会・通常総会(30日) KOCVニュース発行	広尾	畦地
6	12	中学生エッセンシスト担当者会議	広尾	北
	20	通常総会・講演会	JICA横浜	事務局
	22	JICA-KOCV定期会	横浜	畦地・高野
	27	横浜NGO連絡会・総会 22年度1次隊派遣隊員との壮行会 第14回ワーキンググループ・植樹と植樹地域の整地作業	横浜	畦地・竹内
7	3	プレゼンテーションアップセミナー ビーチクリーンアップ作戦(海岸清掃活動)	横浜	山川
	24 or 25	第15回ワーキンググループ・下草刈り作業!林道駁築!	辻堂	中西・牧野
	8	帰国歓迎会 サマーキャンプ	横浜	山崎有通
	28	JICAボランティア家族懇談会	松田町寄	吉岡祥子
9	11	サマー・キャンプ※子供向けイベント実施予定 あーすフェスタ(~12日)	横浜	金子洋三
	25	21年度2次隊派遣隊員との壮行会 協力隊秋暮集 応募促進(ミニ募集説明会)	横浜	田幡美江子
	10	第16回WGグループ 下草刈り×協力隊の森看板設置 中学生エッセンシスト2010一次審査	横浜	藤井克巳
	16	畦地・竹内	伊藤・吉永	
11	横浜国際フェスティバル(~17日) KOCVニュース発行 JOCA開門ブロック会議(~)	象の鼻	北	
	11	日本語フォーラム センターデー	横浜	白井邦恵
	25	横浜	佐々木幹夫	
	25	群馬	金山昌功	
12	21年度3次隊派遣隊員との壮行会 忘年会	横浜	長島園	
	21	横浜	滝本美和	
	22	伊藤・事務局	深沢容子	
	23	畦地・事務局	吉岡祥子	
13	23	JOCA平成22年度第2回評議員会・新春交換会(~24日) 帰国歓迎会 プレゼンテーションアップセミナー	広尾	田幡美江子
	24	横浜	藤井克巳	
	25	伊藤・事務局	入部和也	
	26	畦地	武下悌治	
14	2	ハイテク・ロジニア見学ツアー 横浜国際フォーラム エッセンシスト表彰式	横浜	若林弥生
	3	20年度4次隊派遣隊員との壮行会 港南国際ラウンジ祭 やまと国際フェスティバル	横浜	豊口靖子
	4	横浜	長瀬修	
	5	伊藤・事務局	市岡美奈	
15	年間を通して 実施	横浜	大和	
	6	横浜	桜井研次	
	7	横浜	小澤芳春	
	8	伊藤・事務局	加賀谷英明	
16	9	横浜	小島海治	
	10	横浜	加藤聰子	
	11	飯塚	雜賀雅人	
	12	畦地・増田	伊藤千晶	
17	12	横谷川		
	13	横谷川		
	14	高野・畦地・竹内		
	15	横浜		
18	16	横浜		
	17	伊藤・事務局		
	18	畦地		
	19	横谷川		
19	20	横谷川		
	21	横谷川		
	22	横谷川		
	23	横谷川		
20	24	横谷川		
	25	横谷川		
	26	横谷川		
	27	横谷川		
21	28	横谷川		
	29	横谷川		
	30	横谷川		
	31	横谷川		
22	32	横谷川		
	33	横谷川		
	34	横谷川		
	35	横谷川		
23	36	横谷川		
	37	横谷川		
	38	横谷川		
	39	横谷川		
24	40	横谷川		
	41	横谷川		
	42	横谷川		
	43	横谷川		
25	44	横谷川		
	45	横谷川		
	46	横谷川		
	47	横谷川		
26	48	横谷川		
	49	横谷川		
	50	横谷川		
	51	横谷川		
27	52	横谷川		
	53	横谷川		
	54	横谷川		
	55	横谷川		
28	56	横谷川		
	57	横谷川		
	58	横谷川		
	59	横谷川		
29	60	横谷川		
	61	横谷川		
	62	横谷川		
	63	横谷川		
30	64	横谷川		
	65	横谷川		
	66	横谷川		
	67	横谷川		
31	68	横谷川		
	69	横谷川		
	70	横谷川		
	71	横谷川		
32	72	横谷川		
	73	横谷川		
	74	横谷川		
	75	横谷川		
33	76	横谷川		
	77	横谷川		
	78	横谷川		
	79	横谷川		
34	80	横谷川		
	81	横谷川		
	82	横谷川		
	83	横谷川		
35	84	横谷川		
	85	横谷川		
	86	横谷川		
	87	横谷川		
36	88	横谷川		
	89	横谷川		
	90	横谷川		
	91	横谷川		
37	92	横谷川		
	93	横谷川		
	94	横谷川		
	95	横谷川		
38	96	横谷川		
	97	横谷川		
	98	横谷川		
	99	横谷川		
39	100	横谷川		
	101	横谷川		
	102	横谷川		
	103	横谷川		
40	104	横谷川		
	105	横谷川		
	106	横谷川		
	107	横谷川		
41	108	横谷川		
	109	横谷川		
	110	横谷川		
	111	横谷川		
42	112	横谷川		
	113	横谷川		
	114	横谷川		
	115	横谷川		
43	116	横谷川		
	117	横谷川		
	118	横谷川		
	119	横谷川		
44	120	横谷川		
	121	横谷川		
	122	横谷川		
	123	横谷川		
45	124	横谷川		
	125	横谷川		
	126	横谷川		
	127	横谷川		
46	128	横谷川		
	129	横谷川		
	130	横谷川		
	131	横谷川		
47	132	横谷川		
	133	横谷川		
	134	横谷川		